学校番号	３２４

平成３１年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ｂ	単位数	2	年次	3
使用教科書	高等学校日本史Ｂ最新版　（清水書院）						
副教材等	図説日本史通覧　（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・各時代区分ごとの特徴を捉える。
・各時代区分の連続性を捉える。
・学んだ日本の歴史から現代の日本のあり方・諸課題を考察する。

2　学習の到達目標

・諸資料に親しみ、それらを通して、歴史的思考力を培うことができる。
・近世・近代の歴史を現代の諸課題と結びつけを歴史的観点から考察することができる。
・日本の歴史を、日本の地理的条件や諸外国との交流、各時代の文化と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養うことができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とする日本の歴史に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、現代日本が直面する諸課題の解決に貢献する、日本国民としての責務を果たそうとする。	現代の日本・世界の諸課題を歴史的観点から考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする日本の歴史に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	近現代史を中心とする日本の歴史についての基本的な事柄を日本の地理的条件や日本の歴史・文化と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	レポート（夏季休業中の課題）	定期考査 ワークシート（各単元終了時）	定期考査 レポート（冬期休業中の課題）	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 振り返りシート
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	織豊政権の展開	・信長と秀吉、それぞれの統一事業 ・桃山文化と南蛮文化	○	○	○	○	a:信長の政策と秀吉の政策のそれぞれの特徴と相違点、諸外国との交流とこの時代の文化のつながりに関わる主題を意欲的に考察し、歴史への関心を高めようとしている。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された主題について、事例の考察に必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:設定された主題について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート
	江戸幕府(成立～元禄文化)	・幕府の成立と幕藩体制 ・幕府の安定が社会にもたらしたもの(交通・産業・文化等) ・元禄期の社会	○	○	○ ○	○ ○	a:戦国時代の終了と江戸幕府の安定がもたらした平和よって、大きく発展した江戸時代の社会についての関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:江戸時代の社会の特質を見いだし、日本独特の地理的条件などと関連付けながら多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:必要な諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:江戸時代前半の社会の特質について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート
	江戸幕府(享保の改革～滅亡)	・江戸の三大改革と田沼の改革 ・「外圧」と幕府の対応 ・化政期の芸術・学問・社会 ・開国と幕府の滅亡	○ ○	○ ○ ○	○ ○	○	a:江戸時代の人口増加・社会の発展による身分制社会の矛盾と幕府の対応に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:設定された時代の変質を、日本を取り巻く国際状況の変化などに関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:設定された時代に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:江戸時代後半の社会の特質と日本を取り巻く国際状況の変化について理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

2学期	明治時代	・新政府の発足と新政府が目指したもの ・自由民権運動と立憲体制 ・条約改正と初期議会 ・日清戦争と日露戦争 ・日露戦争後の社会	○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:帝国主義時代に対応するために明治政府がとった政策とそれに対する日本国民の動きについての関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:明治政府の諸政策が、日本を取り巻く国際関係と大きく関係していることを見いだし、日本と世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:明治政府の政策を通し、大きく変貌する日本社会に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:明治政府の政策を通し、大きく変貌する日本社会に関する基本的な事柄を日本と世界の一体化と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	レポート 定期考査 ワークシート
	大正時代～第二次世界大戦前	・第一次世界大戦と国際情勢 ・第一次世界大戦が日本に与えた影響 ・政党政治の展開と大正デモクラシー ・昭和初期の国内政治の特色 ・第二次世界大戦前の国際情勢と日本	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:国際関係が一国の政策に大きな影響を及ぼすこの時代において、最初に起こった世界大戦とその影響に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。 b:人類が初めて経験した世界大戦がどのような経緯で起こり、その後の国際社会に与えた影響についての具体的な様相について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:第一次世界大戦前後の各国の特徴、最初の世界大戦の原因や総力戦としての性格とその影響と平和の意義などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d::第一次世界大戦前後の各国の特徴、最初の世界大戦の原因や総力戦としての性格とその影響と平和の意義などを関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート

3学期	第二次世界大戦	・日中戦争からアジア太平洋戦争へ ・戦時下の日本社会と戦争の推移 ・占領下の政治と日本の民主化	○ ○	○	○	○ ○ ○	a:第二次世界大戦前後の日本を軸とした諸地域世界と、その発生の原因に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている b:第二次世界大戦前後の日本を軸とした諸地域世界について、現在の政治・経済の動向と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:第二次世界大戦前後の日本を軸とした諸地域世界の問題などに関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:第二次世界大戦前後の日本を軸とした諸地域世界についての基本的な事柄を理解し、その知識を身に付けている。	レポート 定期考査 ワークシート
	第二次世界大戦後の世界と日本	・日本の独立と安保体制 ・高度経済成長と自民党政権の内政･外交 ・経済大国日本と冷戦 ・これからの日本を考える	○ ○	○	○ ○	○ ○ ○	a:現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点に基づいて意欲的に追究しようとしている。 b:現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点から考察し適切に表現している。 c:現代の諸課題を、近現代史を中心とする歴史と結び付け歴史的観点に基づく必要な情報を収集し図表にまとめたりしている。 d:現代の諸課題に関する知識を身に付けている。	ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。